

2024（令和6）年度

「運営に関する計画」

最終評価

大阪市立我孫子南中学校

2025（令和7）年3月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では生徒の自主的活動を中心とした規範意識の向上をめざし、学校を中心として保護者・地域・PTAの協力のもと取組を進めてきた。その結果、非常に安定した教育活動が行われ、一部生徒の授業離脱も減少し、比較的、落ち着いた環境で授業を行うことができている。現状のさらなる改善に加え、表面に表れにくい「いじめ」や遅刻・不登校の問題についても一層力を入れていきたい。また、各調査およびチャレンジテスト等の経年比較から課題を分析し、学力の向上を図る取組の推進に努めたい。

【学力の向上】

- 令和5年度の全国学力・学習状況調査において、国語では、全国と比較して、平均正答率が12.8ポイント低くなっており、特に「読むこと」の領域において、全国より約10.7ポイント低くなっている。読む力を高めるために、読書の習慣を身につけさせるなど、文字を読む機会を増やす必要がある。読書活動に興味を持てるような指導を行っていくとともに、図書館開放を継続して行っていきたい。数学では、全国と比較して、平均正答率が11ポイント低くなっており、特に「データの活用」領域で全国より18.6ポイント低くなっており大きな課題が見られる。ICTを積極的に活用するなど、情報を読み取り整理する能力を身に着けるため興味関心を引き出す授業を工夫し、基礎学力の向上を図りたい。また、生徒質問紙の項目において「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」の肯定的な回答割合が88.6%となり、全国88.9%、府87.9%と比較しても高い数値であることから、教員が粘り強く、きめ細やかに指導している成果と考える。今後も、指導力の向上につながる取組を実践していきたい。
- 全教科でICTを活用し、視覚に訴えながら興味関心を高め、効率的な授業の工夫を継続していく。また、自学自習・家庭学習の習慣化に一層努めたい。

【道徳心・社会性の育成】

- 年度末の学校アンケートの結果から、「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしようと心がけている」「命の大切さや社会のルールについて考える機会がある」等の項目で、肯定的な回答の割合が高く、本校の人権教育を基調とした日々の継続した指導のたまものであると考える。今後もより一層人権教育を基調とした指導を続け道徳心・社会性を高めていきたい。

【健康・体力の保持管理】

- 令和5年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、肯定的回答の割合が、本校における令和4年度の値を4.9ポイント下回った。食育に重点を置き、指導計画を改善することで健全な食生活を実現させ、心身の健康と豊かな人間形成に努めたい。
- 令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男子で3種目、女子で5種目、全国平均を上回った。また、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目において、肯定的回答が男女とも全国平均を上回った。保健体育の授業だけでなく、行内行事でも運動に対する興味関心をもたせ、体力の向上を図る取組の成果が表れた。今後も習得した知識を実生活に活かせるよう、教科等横断した授業計画を図るなどのさらなる工夫が必要である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度までに生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的回答の割合を82%以上にする。各学年に配置するICT教育担当教員による情報収集および情報交換をより充実させ、学習の習慣化および個別最適な学びに適したデジタルドリルの活用等、授業での端末の使用率を促進させ、協働的な学びや情報活用能力のさらなる向上にもつなげたい。
- ・本年度より導入の欠席連絡等アプリや自動採点システムの活用および業務の負担軽減につながる取組を推進したことで、長時間労働の改善がみられた部分もある。引き続き、仕事の効率化および業務の負担軽減を図り、働きやすい環境づくりに努め、教職員の指導力向上や、生徒支援の充実につなげていく。
- ・令和7年度までに生徒アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を3%以下にする。
- ・令和7年度までに保護者アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を0%にする。
- ・令和7年度までに不登校生の割合を10%以下にする。
- ・生徒アンケートにおける「命の大切さや社会のルールについて考える機会がある」の項目について、肯定的回答の割合90%以上を維持する。
- ・令和6年度末の生徒アンケートにおける「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしよう」と心がけている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合90%以上を維持する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度までに生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的回答の割合を89%以上にする。
- ・令和7年度までに保護者アンケートにおける「子どもは、授業はわかりやすいと言っている」の項目について、肯定的回答の割合を82%以上にする。
- ・令和7年度までに生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について肯定的回答の割合を82%以上にする。
- ・令和7年度までに全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均を上回る種目を（男女ともに）2つ以上にする。
- ・令和7年度までに保護者アンケートにおける「学校は、生徒の健康教育や安全指導・事故の防止対策を行っている」の項目について肯定的回答の割合を90%以上にする。
- ・図書館の整備、自主学習、放課後学習を推進する。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度までに、端末を利用した生徒の家庭学習を月1日以上にする。
- ・令和7年度までに、授業日において学習者用端末を使用した割合を50%以上にする。
- ・「ゆとりの日」を週1回以上設定して実施する。
- ・令和7年度までに、全国学力・学習状況調査の「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」の項目について、「全くしない」と回答する生徒の割合を7%以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

学校の年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする（令和5年度：80.2%）。 ***71.9%**
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる（令和5年度：12%）。 ***10.5%**
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる（「指導の結果登校する又はできるようになった生徒の割合」令和5年度：14%）。 ***31.2%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的回答の割合を昨年度（令和5年度：69.7%）以上にする。 ***80.6%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を昨年度（令和5年度：4.5%）以下にする。 ***0.07%**
- ・年度末の保護者アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を3%以下にする（令和5年度：0%）。 ***3%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「命の大切さや社会のルールについて考える機会がある」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする（令和5年度：88.2%）。 ***88%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしよう」と心がけている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を90%以上にする（令和5年度：93.3%）。 ***98%**

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を23%以上にする（令和5年度：20.8%）。 ***26.3%**
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
***国語：2年(0.88⇒0.88)、3年(0.89⇒0.88)**
***数学：2年(0.85⇒0.83)、3年(0.80⇒0.80)**
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を30%以上にする（令和5年度：28.2%）。 ***48.7%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、同一母集団において肯定的回答の割合を昨年度（令和5年度：現2年生80.9%、現3年生77.3%）以上にする。 ***現2年生 73% *現3年生 88.0%**
- ・年度末の保護者アンケートにおける「子どもは、授業はわかりやすいと言っている」の項目について、肯定的回答の割合を昨年度（令和5年度：79.7%）以上にする。 ***83.8%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について肯定的回答の割合を昨年度（令和5年度：71.3%）以上にする。 ***79%**
- ・図書館の整備、自主学習、放課後学習を推進する。 ***3月10日時点：延べ2,459人**
- ・令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、いずれかの種目において（男女ともに）全国平均を上回るようにする。
***50m走 男子 +0.02% 女子 ±0**
- ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、生徒の健康教育や安全指導・事故の防止対策を行っている」の項目について肯定的回答の割合を85%以上にする。（令和5年度：88.4%） ***85%**

【学びを支える教育環境の充実】

- ・端末を利用した生徒の家庭学習を月1回以上にする。 ***月1回を下回る**
- ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 ***1日の中で全校生徒の8割が端末を使用するまでには及ばないが、昨年度よりも活用率は着実に増加している。**
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を50%以上にする（令和5年度：45.71%）。 ***45.4%**
- ・全国学力・学習状況調査における「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」の項目について、「全くしない」と回答する生徒の割合を7%以下にする。 ***該当項目なし**

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

おおむね計画通りに目標を達成した。特に「学校行事(体育大会、文化発表会、校外学習・泊行事、学年行事)に、しっかり取り組んでいる」の項目および「学校では、特色ある教育活動が行われている(学校行事等)」の項目について、肯定的回答の割合がそれぞれ98%と87%となり、目標数値を大きく上回った。これは、本校の特色を活かした人権教育の継続した指導に加え、教職員の資質向上を図った成果であると考えられる。また、前年度不登校生徒の改善の割合については、生徒指導主事を中心にケース会議をはじめ校内関係職員および外部諸機関と連携し、生徒・保護者の対応を計画的に実践したことで、段階を経て改善した割合が増加した。依然、課題を抱える生徒の数は多いが、継続して対応していきたい。年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目および「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしよう」と心がけている」の項目について、肯定的回答の割合がそれぞれ80.6%(令和5年度：69.7%)と98%(令和5年度：93.3%)となり、目標数値および昨年度の数値を上回った。本校の特色でもある人権教育に関連した取り組みや学校行事等を通して、互いを思いやり、尊重し合うこと、また主体的かつ前向きな姿勢で取り組んだ成果が自己肯定感、責任感の育成につながった。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和6年度の中学生チャレンジテストにおいては、国語・数学の対府平均比を同一の母集団で経年的に比較すると、国語については、2年(0.88⇒0.88)・3年(0.89⇒0.88)、数学については、2年(0.85⇒0.83)、3年(0.80⇒0.80)となり、各学年とも同数値であった。大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合については、48.7%(令和5年度28.2%)となり、目標および昨年度の割合を大きく上回った。今後、ICT機器の活用等、授業を工夫することで、生徒の興味関心を高めながら基礎学力の向上を図っていきたい。全国体力・運動能力、運動習慣調査においては、男女とも50m走以外は全国平均を下回る結果になった。「運動することは楽しい」という項目の肯定的な回答、は男女通して79%と昨年度以上ではあるが、体育の授業だけではなく、部活動等も通じて体力向上の取組を図るなど、体を動かすことに興味・関心をもたせ、運動を習慣化させる工夫を図っていく必要がある。

【学びを支える教育環境の充実】

欠席連絡等アプリ「ミマモルメ」や自動採点システム等を活用することで、教職員の仕事効率化および負担軽減を継続して実践した。また、職員朝礼をICTによる情報共有の形に移行したことで、教職員間の連絡をもれなく行うことができ、生徒と関わる時間を有効的に生成することができている。成果として、各月の一人当たりの平均時間外勤務時間は昨年度より、すべての月において減少した。引き続き、教職員の長時間勤務の解消に努め、働き方改革の推進を図るための取組を実践したい。

大阪市立我孫子南中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする(令和5年度:80.2%)。 方向1 *71.9% ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる(令和5年度:12%)。 方向1 *10.5% ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる(「指導の結果登校する又はできるようになった生徒の割合」令和5年度:14%)。 方向1 *31.2% ・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的回答の割合を昨年度(令和5年度:69.7%)以上にする。 方向1 *80.6% ・年度末の生徒アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を昨年度(令和5年度:4.5%)以下にする。 方向1 *0.07% ・年度末の保護者アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を3%以下にする(令和5年度:0%)。 方向1 *3% ・年度末の生徒アンケートにおける「命の大切さや社会のルールについて考える機会がある」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする(令和5年度:88.2%)。 方向2 *88% ・年度末の生徒アンケートにおける「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしよう」と心がけている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を90%以上にする(令和5年度:93.3%)。 方向2 *98% 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向1 安心安全な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭の連携を密にし、「いじめ」を絶対許さない取組を推進する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回のいじめアンケート調査を実施し、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に向けて教職員の連携を密にする。 *各学期に1回(年3回)実施 ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を80%以上にする。 *85% 	A

<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会、委員会の生徒だけではなく、全生徒が参加する「朝のあいさつ運動」を推進する。 ・「時間を守り規則正しい生活を心がける」「学校のルールやマナーを守る」の2点について、家庭と連携しながら全教職員で指導する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の生徒アンケートにおける「あいさつをきちんとしている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を80%以上にする。 *87% ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は雰囲気良く、子どもたちが生き生きとしている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を80%以上にする。(令和5年度：80.2%)。 *86% 	A
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識や仲間意識が向上する学校行事を実施する。 ・生徒一人ひとりが、互いの人権を尊重し合える教育を推進する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の生徒アンケートにおける「学校行事（体育大会、文化発表会、校外学習・泊行事、学年行事）に、しっかり取り組んでいる」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を85%以上にする。(令和5年度：93.8%)。 *98% ・年度末の保護者アンケートにおける「学校では、特色ある教育活動が行われている（学校行事等）」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を80%以上にする。(令和5年度：83.7%)。 *87% 	A

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心安全な教育環境の実現】</p> <p>各学期に実施するいじめアンケートの活用やミマモルメによる日々の家庭との情報共有によって、いじめや不登校になる要因の早期発見・早期対応に努めている。また、適宜、いじめ・不登校対策委員会を開催し、いじめを絶対許さない体制および学校に行くことが楽しいと思える体制を整えたり、こころの相談室や保健室の活用状況を共有したりすることで、生徒の様子を把握するよう努めている。</p>	
<p>取組内容②③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>「あいさつの取り組み」に関しては生徒会を中心とする朝の「あいさつ運動」の推進に全教職員で積極的に関わり、多くの生徒が自発的にできるようになってきている。</p> <p>「時間を守り規則正しい生活を心がける」「学校のルールやマナーを守る」については、まだ課題が残る。さらに本校の特色ある教育活動を通じて規範意識や仲間意識が向上するような取り組みを進めていく。</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>生徒の生活指導上の課題も教職員・保護者・地域・外部諸機関と密に連携することで、不登校生徒の登校状況等が改善されてきた。また、ミマモルメや学校HP等を通して、学校の様子や保護者連絡を発信し、情報を見たいときに見ることができるよう取り組んだ。今後も安心安全な教育環境を実現させるため、本校の特色ある教育活動において生徒が前向きに、また意欲的に取り組んでいる様子等を発信し、開かれた学校づくりに努めたい。</p>	

大阪市立我孫子南中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を23%以上にする(令和5年度:20.8%)。 方向4 *26.3% 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 *国語:2年(0.88⇒0.88)、3年(0.89⇒0.88) 方向4 *数学:2年(0.85⇒0.83)、3年(0.80⇒0.80) 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を30%以上にする(令和5年度:28.2%)。 方向4*48.7% 年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、同一母集団において肯定的回答の割合を昨年度(令和5年度:現2年生80.9%、現3年生77.3%)以上にする。 方向4 *現2年生 73% *現3年生 88% 年度末の保護者アンケートにおける「子どもは授業はわかりやすいと言っている」の項目について、肯定的回答の割合を85%以上にする。(令和5年度:88.4%) *83.8% 年度末の生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について肯定的回答の割合を昨年度(令和5年度:71.3%)以上にする。 方向5 *79% 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な校内研修を計画し、教員の授業力を向上させる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の視点から行う授業改善に向けての校内研究授業を年間2回以上行い、授業力を高め合う。 *教育委員会より教科担当指導主事を招聘し、年3回の校内研究授業を実施 小学校との相互参観授業にできるだけ多くの教員が参加し、互いに切磋琢磨することを推進する。 *年2回、授業参観および小学校への出前授業を実施 	A
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業をすることを推進する。 基礎基本の定着を図るため、効果的な授業形態を確立する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の生徒アンケートにおける「授業では、自分の意見や与えられた課題を発表したりすることがよくある」の項目について、肯定的回答の割合を60%以上にする。 *50% 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもたちが学力充実のために努力・工夫してくれている」の項目について、肯定的回答の割合を70%以上にする。 *78% 	B

<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の育成につなげるため、学校司書を中心に図書室の整備に努め、学校元気アップ支援、学力向上支援事業のスタッフと連携し、放課後学習等、図書室の利用率を向上させる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報をホームページや配布プリントを利用して、各家庭に周知する。 ・*それぞれ毎月1回発行 ・年間利用人数を昨年度(令和5年度:延べ421名)以上にする。*10月31日時点:延べ1,423人 *3月10日時点:延べ2,459人 	A
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や部活動において基礎体力の向上をめざす運動を推進する。 ・熱中症等予防講習会等を開き、体調管理を自分で行えるようになるよう推進する。 ・食育や健康について、実生活との関連性を図り、健康に対する関心を向上させる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度末の保護者アンケートにおける「学校は、生徒の健康教育や安全指導・事故防止対策を行っている」の項目について肯定的回答の割合を85%以上にする。 ・*85% ・「食育通信」「保健便り」をそれぞれ毎月1回発行し、健康に対する関心を高めさせる。*それぞれ毎月1回発行 	A

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①②③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>校内授業研究では、授業者が生徒の興味関心を高めるためのICT機器の活用や、主体的・対話的で深い学びを取り入れた工夫ある授業を展開し、研究協議の方法を工夫することで互いに授業力を高め合う機会となるよう推進している。また、各実施回で指導主事の助言を仰ぎ、指導方法の改善に努めている。小中連携においては、小学校との相互参観授業や部活動体験(実施予定)等で連携を深めている。</p> <p>基礎基本の定着については、TTの活用や長期休業中の補講等で個別最適な方法で学力の向上を図っている。また、学びサポーターによる授業の入り込みや放課後の学習会を行うことで、基礎基本の定着だけでなく学習習慣も身に付けられるように努めている。</p> <p>学校司書を中心に図書室の整備および学校元気アップ支援、学力向上支援事業スタッフと連携した通信の発行を行い、放課後学習等、図書室の利用率向上につなげている。</p> <p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>保健体育の授業や部活動を通して基礎体力の向上を図る運動を推進し、実生活においても生徒が健康の保持増進、安全管理を意識した行動ができるよう指導している。さらに「食育通信」「保健だより」の発行により健康に関する関心を高めている。</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>「誰一人取り残さない学力の向上」において、これまでの学力向上に向けた取り組みに加え、次年度以降、空き教室の環境を整備し、不登校生徒の学習サポートや、教職員のオンライン研修等、個別最適な学びの向上を図っていききたい。課題としては、基礎学力の定着および向上があげられるが、学びサポーターや放課後学習等での学習サポートを充実させ、生徒の学習意欲につなげていきたい。</p> <p>「健やかな体の育成」においては、体力の向上および生徒が自ら進んで健康の保持増進、安全管理を意識した行動ができるよう、さらなる工夫が必要である。</p>	

大阪市立我孫子南中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末を利用した生徒の家庭学習を月 1 回以上にする。 方向 6 *月1回を下回る ・ 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。 方向 6 *1日の中で全校生徒の8割が端末を使用するまでには及ばないが、昨年度よりも活用率は着実に増加している。 ・ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 50% 以上にする (令和 5 年度: 45.71%)。 方向 7 *45.4% 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的にデジタルドリル等を家庭学習に活用させ、個別最適な学びを推進する。 ・ ICT を主体的に活用させ、情報活用能力を高めながら、情報化社会で生き抜く力を身に着けさせる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末持ち帰りによる家庭学習を月 1 回は行わせる。 *月1回を下回る ・ ICT を用いて情報を活用させて回答させる課題を月 1 回以上行う。 <p>*いずれかの教科で月1回以上実施</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容を細分化し役割分担を行うとともに、組織的に業務を遂行することにより、仕事の効率化を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 週 1 回は定時に退勤できるように、「ゆとりの日」を個々に設定し、長時間勤務の解消を行う。 *設定はできていないが、平均時間外勤務時間は減少している 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育DXの推進】</p> <p>一部教科によって持ち帰らせ、課題の提出など実施している。また、ICT の効果的な活用については、心の天気を積極的に活用したり、協働的な学びや情報活用能力の向上につながる方法をさらに工夫したりする必要がある。</p> <p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「ゆとりの日」を個々に設定することはできていないが、職員朝礼に代わる S K I P を活用した情報共有、ミマモルメの活用、テスト採点システムの導入等、昨年度に引き続き実施することで教職員の長時間勤務は昨年度より減少している。今後も、学校行事や組織や定例会議の見直し等、働き方改革の取り組みをさらに進めていく。</p>

次年度への改善点

各学年に配置する ICT 担当教員を中心に、情報教育やデジタルドリルの活用等、授業および家庭学習での端末の使用率を促進させ、協働的な学びや情報活用能力のさらなる向上を図りたい。

働き方改革の推進については、業務の負担軽減につながる取組を推奨したことで、教職員の意識にも変化がみられるようになり、毎月の時間外勤務時間の平均がすべての月において昨年度より減少した。引き続き、仕事の効率化および業務の負担軽減を図り、働きやすい環境づくりに努め、教職員の指導力向上や、生徒支援の充実につなげていく。

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立我孫子南中学校 協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

--

3 今後の学校園の運営についての意見

--